

“捨てない選択 BIOLOGIC LOOP”

株式会社BPLab 会社概要



# 1. 会社概要

	内容
会社名称	株式会社BPLab
設立	2021年6月
代表取締役	八代直樹
住所	Tokyo:東京都港区北青山2-12-8 Kanagawa:神奈川県横浜市金沢区釜利谷東4
電話番号	090-8648-8264
FAX番号	
URL	<a href="https://www.bplab.info">https://www.bplab.info</a>
事業内容	1. ブランドコンサルティング事業 2. 繊維製品の回収および循環再生事業 3. システム開発事業 4. PR/販促事業

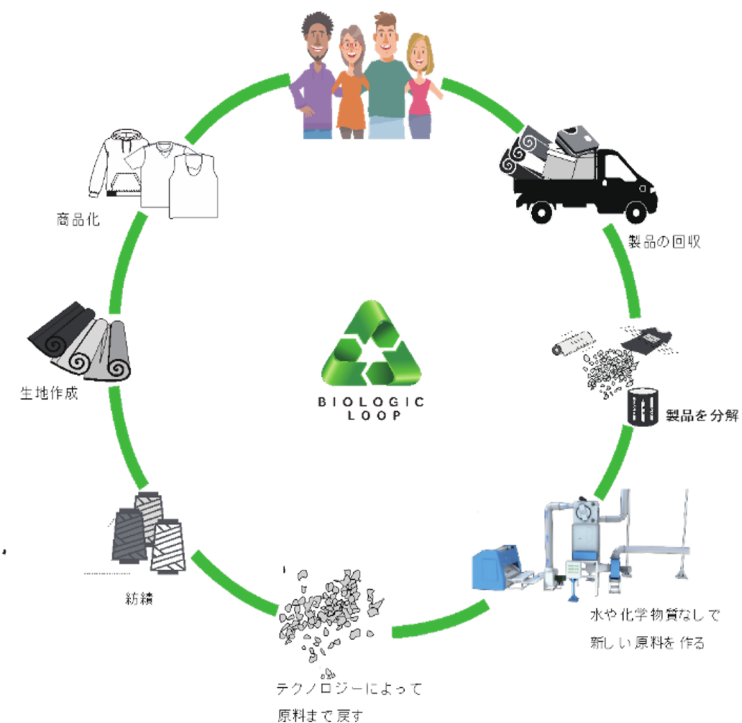


KANAGAWA SDGs PARTNER  
神奈川県 | 〒220-8688 | 〒220-0299 | 〒220-0244



## サーキュラーエコノミー三原則にもとづくプラットフォーム運用

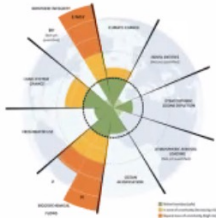
1. 廃棄物と汚染を生み出さないデザイン
2. 製品と原料を使い続ける
3. 自然システムの再生



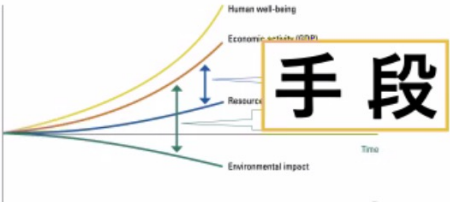
# 4つの持続可能性ゴールと サーキュラーエコノミーの位置付け

目的: 持続可能な地球・社会経済 |||||➡ Human Wellbeing (ウェルビーイング)

Planetary Boundaries



Decoupling(デカップリング)



SDGs



パリ協定



↑ 手段

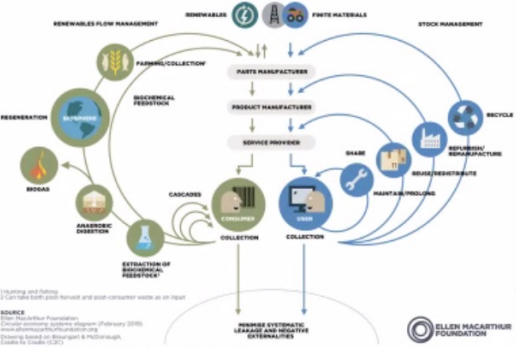
経済の仕組み

サーキュラーエコノミー3原則

サーキュラーエコノミーシステム

### THREE PRINCIPLES OF A CIRCULAR ECONOMY

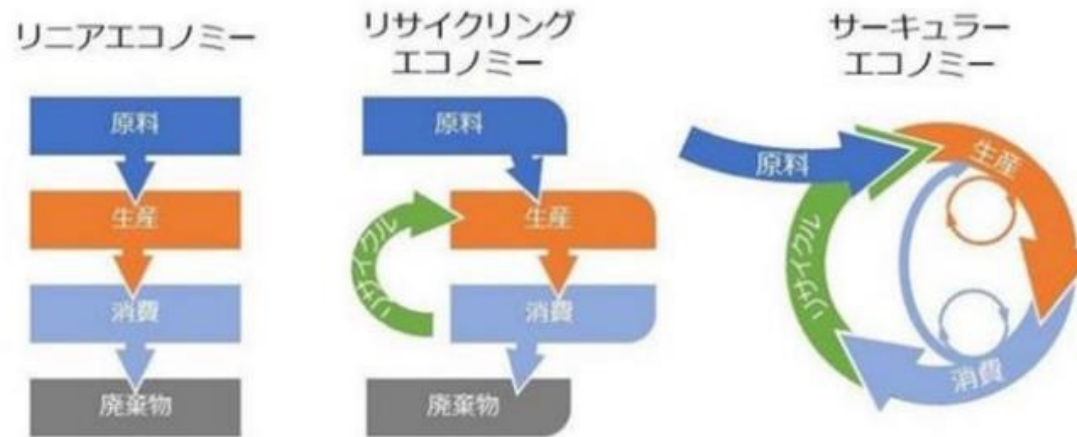
- 1. DESIGN OUT WASTE AND POLLUTION
- 2. KEEP PRODUCTS AND MATERIALS IN USE
- 3. REGENERATE NATURAL SYSTEMS



# BIOLOGIC LOOPの循環

## BIOLOGIC LOOPは資源を無駄にせず、循環させていく サーキュラーエコノミーのプラットフォーム

「サーキュラー」は「循環」を意味する言葉で、新たな資源や原材料の投入量を最小化し、使ったものに新たな価値を生み出し、廃棄物の発生を最小化するという循環型の経済を指します。環境への負荷を抑えながら、経済効果も得るといふ新しいビジネスモデル。



繊維製品の回収・循環・再生  
サーキュラーエコノミーで実現するサステナブルな暮らしへ

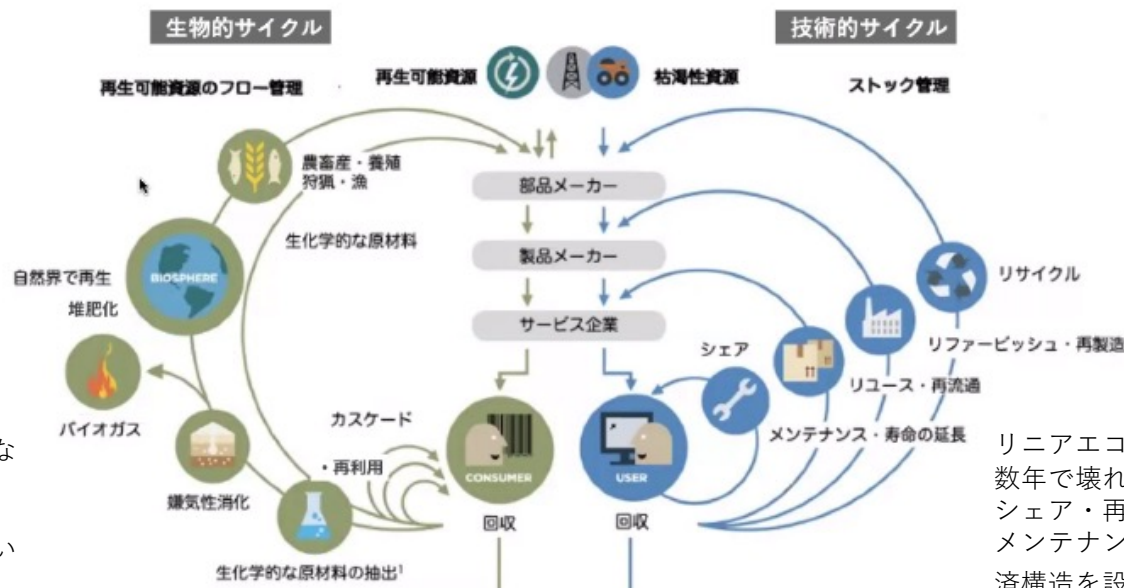


# BIOLOGIC LOOPの原則

## サーキュラーエコノミー三原則にもとづく運用

1. 廃棄物と汚染を生み出さないデザイン
2. 製品と原料を使い続ける
3. 自然システムの再生

サーキュラーエコノミー バタフライダイアグラム



生物的サイクル：  
再生可能な資源の循環

技術的サイクル：  
枯渇性資源の循環

消費されても微生物による自然の分解などを経て再生され、また元のサイクルへと繋がっていく。自然の仕組みの中に戻して循環させていくという構造。

リニアエコノミーにより生まれた数年で壊れる製品を作るモデルから抜け出し、シェア・再使用・メンテナンス・リサイクルなどを活かした経済構造を設計していく。



## グローバル環境 1

日本のアパレル業界に迫る変革

### フランスで世界初の衣服廃棄禁止令

山崎 理子：東洋経済 記者

2022.01.21

シェア

ツイート

一覧

BI 0

日本でも在庫の焼却処分ゼロに踏み切る企業が出始めている。



## グローバル環境 2

ESGニュース

【デンマーク】  
グリーンウォッシュは違法行為に  
第三者評価、LCA義務付けも

Think ESG

### デンマーク：グリーンウォッシュは違法行為に。第三者評価、LCA義務付けも

© 2022年1月20日

企業が自社の製品やブランドをグリーン、サステナブルと呼ぶための条件が大きく変わる。デンマークの消費者オンブズマンは最近、企業がグリーン・クレームを裏付けるためにライフサイクル分析（LCA）のような科学的な文書が必要になると新たなルールを定めた。製品を売るためにグリーン用語を悪用すると、100万ドルの罰金につながる可能性があるという警告している。

つまり、デンマークで製品を販売する場合、ライフサイクルアセスメントなしに「グリーン」または「カーボンニュートラル」と呼ぶことはできない、というものである。

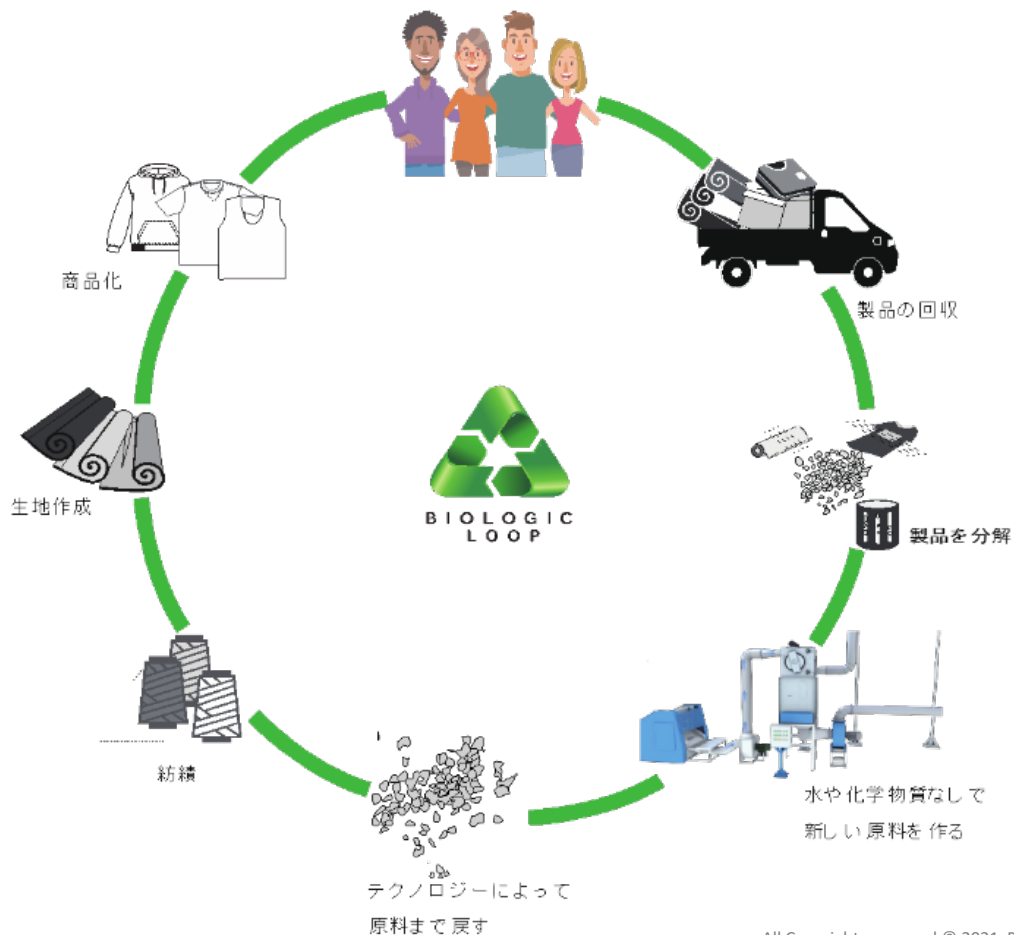
日本企業もサステナビリティを強調するマーケティング活動を強化している中、グリーンウォッシュを避けるための注意点として参考になるだろう。

All Copyrights reserved © 2021 BPLab



# BIOLOGIC LOOPとは

BIOLOGIC LOOP は“ 繊維製品の循環プラットフォーム”です。



**9 産業と技術革新の基盤をつくろう**

循環プラットフォーム上では新しい技術による循環原料の新規開発に取り組み

**12 つくる責任 つかう責任**

繊維製品を作る企業とともに循環プラットフォームを構築し製品を購入いただく消費者にも循環させることを認知してもらう。

**13 気候変動に具体的な対策を**

新しい原料を使用しないことで二酸化炭素排出量を削減し水の使用量を減らす。

**14 海の豊かさを守ろう**

海に捨てられた海洋ゴミを活用した新規ビジネスを構築

**15 陸の豊かさを守ろう**

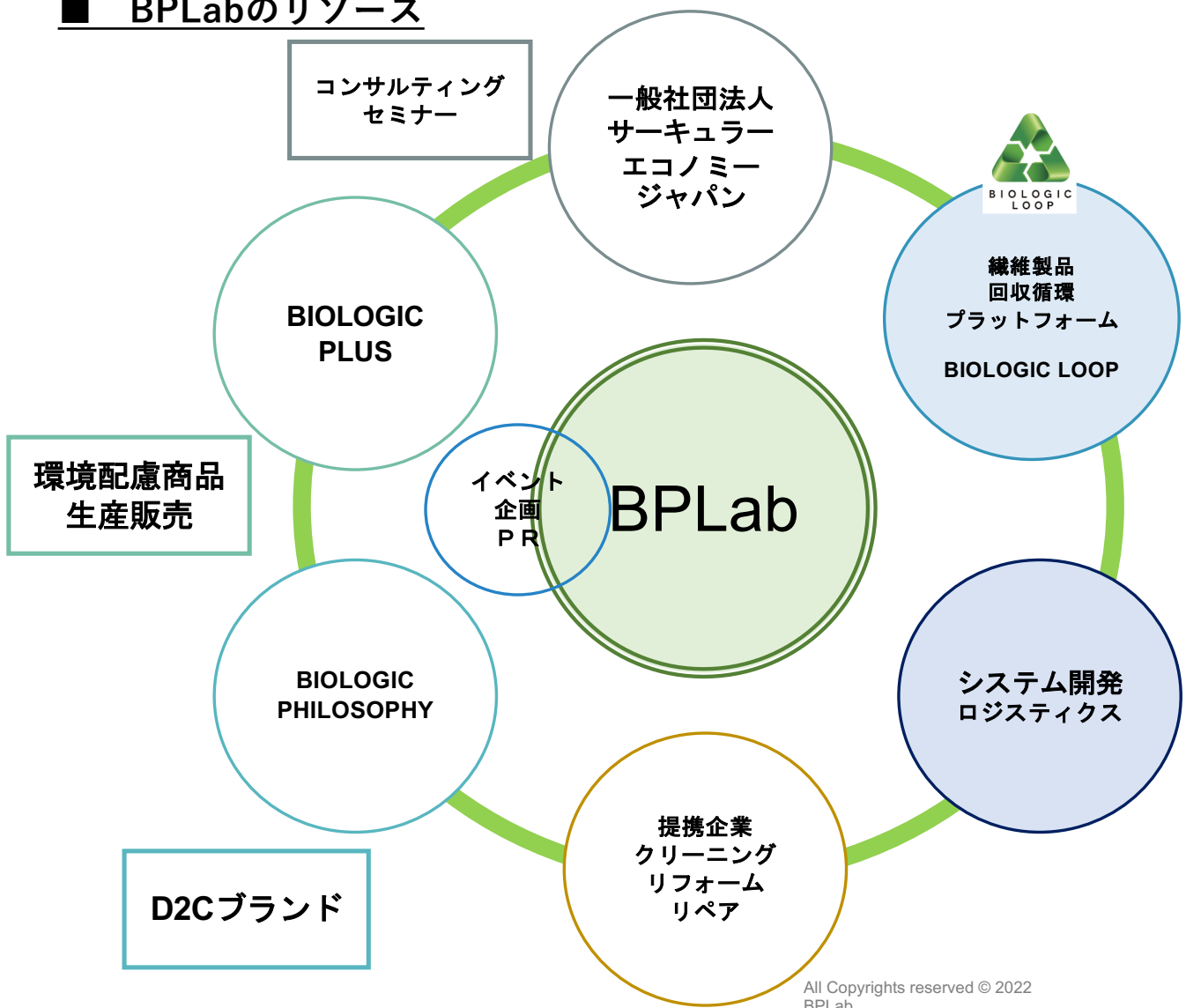
化学肥料を使用しない原材料の供給を推奨し土壌を汚染しない。水の使用量を減らすことで水資源の保全につながります。

**17 パートナーシップで目標を達成しよう**


プラットフォームに業界全体で取り組み、共創しパートナーシップを結ぶことを目指します。



# ■ BPLabのリソース



- 循環天然繊維（綿）  
糸・生地・製品
- 循環天然繊維（毛）  
糸・生地・製品
- 循環ポリエステル（1）  
糸・生地・製品
- 循環ポリエステル（2）  
ペレット・製品

- e-回収BOX  EC回収システム
- トレーサビリティシステム  
(ブロックチェーン活用・NFT)
- LCA（ライフサイクルアセスメント）算出



## 1 繊維製品の循環型回収プラットフォーム運営

BIOLOGIC LOOPの回収・リサイクルのプラットフォームに参加するサービスです。  
BPLabが契約した廃棄物処理事業所において繊維製品全般の回収を行います。  
回収された繊維製品を分別し、マテリアルリサイクルにより、BPLabが再生活用します。  
リサイクル循環業務委託契約書を結ぶことにより、リサイクル化証明書を発行し、回収・循環の報告をします。  
回収・リサイクルのプラットフォームに参加することで、循環型社会へ移行するためのアクションの第一歩を踏みだすお手伝いをします。

## 2 サーキュラーエコノミーのコンサルティング事業

私たちが構築したプラットフォームや循環素材、新しい情報の提供。  
企業や団体との取り組みにより、サプライチェーンの構築や商品開発を一緒に行います。  
また、サーキュラーエコノミーへ移行するための課題解決のためのさまざまなアプローチの提案、  
開発した商品の販売促進のための、宣伝活動やセミナー・イベントなどの企画実行を行います。  
循環型社会の目指し、サーキュラーエコノミーがビジネスとして実装するための支援を提供します。

## 3 サーキュラー原料と素材の開発と販売

要らなくなった繊維製品は、タグ情報からBPLab契約廃棄物処理事業所にて回収。  
天然繊維製品（※綿・麻・毛の素材とその複合素材）は新しく水や化学薬品を用いずに、新しい天然繊維資源として再生、ポリエステル混繊維製品は提携企業のマテリアルリサイクルにて、新たな資源に再生し循環します。

## 4 システム開発事業

- 1) ECから衣料回収をするe-回収ボックスシステムの開発
- 2) 繊維製品の原料から消費者が購入使用するまでのブロックチェーンを使ったトレーサビリティシステムの開発
- 3) LCA（ライフサイクルアセスメント）算出システムの開発

# 一般社団法人サーキュラーエコノミー・ジャパンとの連携



**中石和良：**  
一般社団法人サーキュラーエコノミー・ジャパン 代表理事  
株式会社バイオロジックフィロソフィ 代表取締役  
一般社団法人日本バイオホテル協会 代表理事  
株式会社BPLab 取締役



All Copyrights reserved © 2021 BPLab

雑誌『FRaU』主催  
“FRaU SDGs AWARD 2021-2022”において、  
BPLab取締役の中石和良が  
最優秀GOLDを受賞



「循環型社会への道しるべ。サーキュラーエコノミーを知っていますか？」  
FRaU 2021年1月号「FRaU SDGs世界を変える、はじめかた。2021」（2020年12月発行）  
[受賞] 中石 和良（一般社団法人サーキュラーエコノミー・ジャパン代表理事）



## 2022最新の実績

2022年4月22日

株式会社ロフトはサステナブルアクションに向けて株式会社BPLabとの取り組みを発表。  
第一弾：衣料品回収ボックスの設置スタート

【ロフト】循環プラットフォーム「BIOLOGIC LOOP(ビオロジックループ)」始動！銀座ロフトが使用済み繊維製品の回収拠点に！

「LOFT GREEN PROJECT」できることから。環境を考えるきっかけに。

株式会社ロフト

2022年4月21日 13時00分



雑貨のチカラで、暮らしと地球を  
しあわせに。

Loft

LOFT GREEN PROJECT

WWD

ファッション ビューティ ビジネス サステナビリティ 特集・連載 コレクション キャリア

寝具からタオルへ 3社連携で綿100%アイテムの再生・循環プロジェクト始まる



浅野燃糸

IWATA

SINCE 1830 KYOTO

BPLab INC.

(株)イワタの寝具製品の回収による綿を資源として、特殊燃糸の技術によって、柔らかく・吸水性の高いタオルを開発。近日発表予定。

# 愛知県環境局資源循環推進課 循環グループ

## 令和4年度サーキュラーエコノミー推進モデル事業化支援業務委託

### 様式\_4

イ) プロジェクトチームの事業内容について

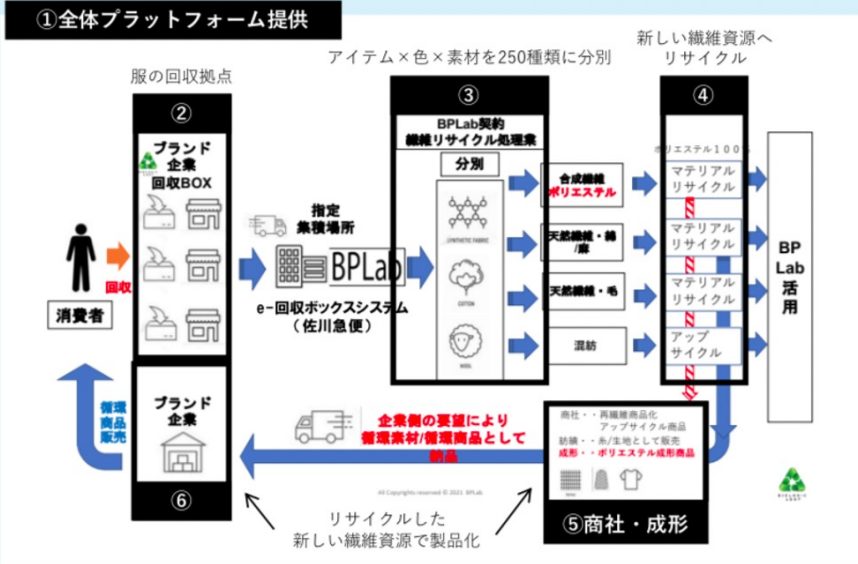
47

【繊維・衣類循環利用モデル】 ※実際は、14-19ページのStep1-5を踏まえて、愛知県様含め協議の上モデル設計およびチーム設定します。

#### チームD) 総合アパレル循環モデル

##### ■ 想定モデル

エレンマッカーサー財団の3原則（※35ページ参照）に基づいた衣類循環システムBIOLOGIC LOOPの愛知県内展開。



## 環境への取り組み

### ■繊維製品回収イベント『循環ぷらっと』の実施

・当モールでは、地域に根差した循環型社会実現に向けたサーキュラーモール（※）の取り組みとして、ご家庭で不要となった繊維製品の回収イベントを実施します。回収した繊維製品は状態、素材、種類等に分別の上、資源として再利用しリサイクルコットンやリサイクルウール等へリサイクルさせる事により、廃棄物を削減し、CO2排出の抑制を目指します。

- ・実施期間：11月3日（木・祝）～17日（木）
- ・場 所：2F ノースブリッジ
- ・内 容：期間中は、回収された繊維製品がリサイクルされるまでの循環サイクルを説明したボードや実際にリサイクルされて生まれた製品を展示します。  
11月5日（土）・6日（日）は、回収繊維製品を資源としてアップサイクルした素材を用いたハンドメイドワークショップを開催し、繊維製品の活用を体験いただけます。

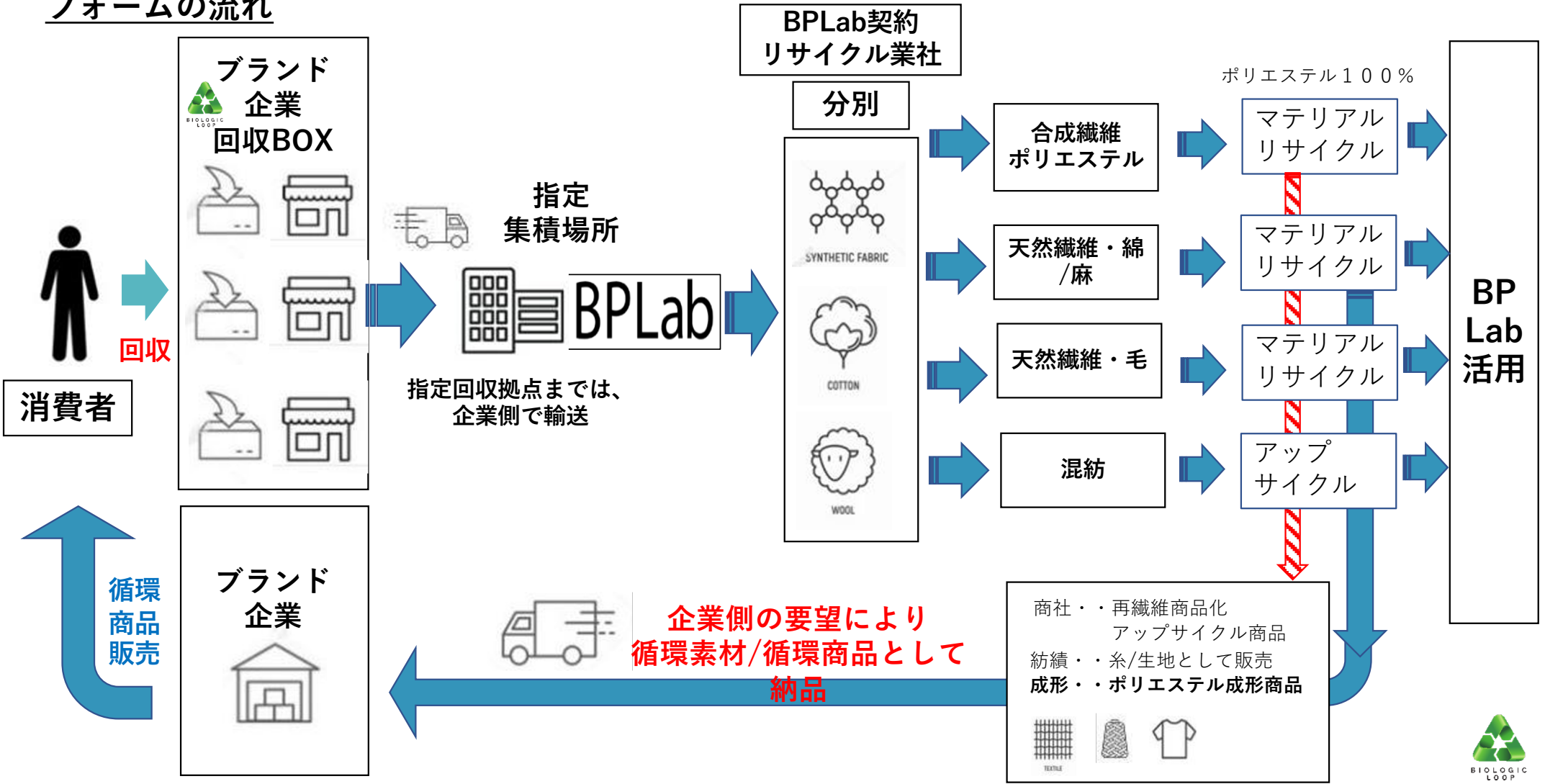
### 循環ぷらっと



※「サーキュラーモール」とは、モールの集積・規模を活かしながら、お客さま・専門店、地域社会との共創によって循環型社会を実現することです。

※回収項目、ワークショップ詳細については当モールHPをご確認ください。

# ■BIOLOGIC LOOP 回収循環プラットフォームの流れ



# □ 循環サービス

すべての繊維製品を捨てずに再生し、  
循環するため**商品設計から取り組むサービス**です。

再生・循環可能な製品にBIOLOGIC LOOP循環契約用タグをつけることで、  
購入者はトレーサビリティや回収方法を知ることが出来ます。

要らなくなった繊維製品は、  
タグ情報からBPLab契約廃棄物処理事業所にて回収することができます。。

デザイン設計の段階で素材を下記3つに分類し、このカード（マーク）をつけて商品の販売していただきます。  
このカードの裏面にあるQRコードによって、それぞれの素材の情報とリサイクル方法がわかります。



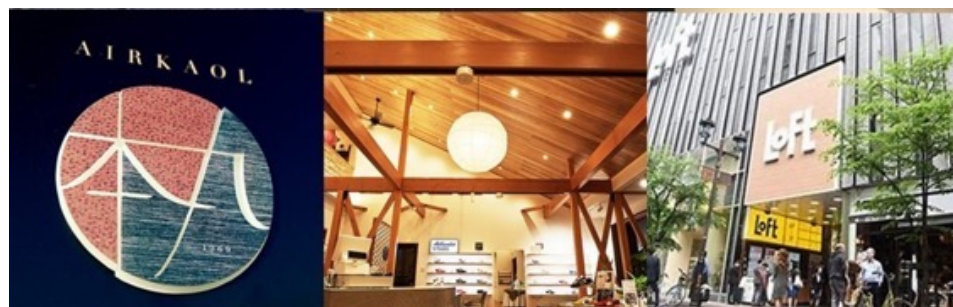
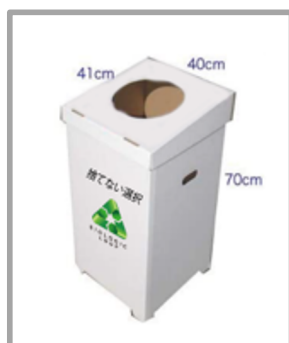
## □回収リサイクルサービス

BIOLOGIC LOOPの回収・リサイクルのプラットフォームに参加するサービスです。

BPLabが契約した廃棄物処理事業所において  
**繊維製品全般の回収を少量からでも行います。**

回収された繊維製品を分別し、マテリアルリサイクルにより、BPLabが再生活用します。

- ・リサイクルキャンペーン・イベントの実施
- ・店頭での回収ボックスの常設による、お客様からの繊維製品回収





ポリエステル繊維循環プラットフォーム運用でできること



All Copyrights reserved © 2021 BPLab



繊維循環プラットフォーム運用でできること (2)



All Copyrights reserved © 2021 BPLab



混合繊維の循環プラットフォーム運用でできること



All Copyrights reserved © 2021 BPLab